



福井県立 若狭高等学校 **SSH**だより

Vol.17
2017.12

福井県立若狭高等学校 SSH・研究部

[E-mail] ssh@wakasa-h.ed.jp [website] <http://www.wakasa-h.ed.jp> [Facebook] Wakasa Senior High School

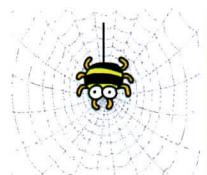
特集

中学生の皆さんへ ～若狭高校SSH紹介～

今号では若狭高校の生徒がSSH事業でどのような学習や取り組みを行っているのかについて紹介したいと思います。

課題研究インタビュー

- Q1 課題研究に取り組んだ感想を聽かせて下さい
- Q2 中学生へのメッセージをお願いします。



研究課題「クモの巣の白帯について」

- A 1. テーマ設定で自分たちが興味をもっていることの中で、まだ研究されていないを見つけることが難しかった。興味をもっていることなので全てが面白いと感じる。
- A 2. 興味をもっていることはありませんか？課題研究では自分が興味をもったことについて研究できます。また、課題研究を通して自分で考える力や実行する力が養うことができます。

文理探究科1年 西川拓海（小浜中卒業）

研究課題「小浜市の人口問題について」

- A 1. 自分の住んでいる町について、今まで知らなかった課題やPRすべき点が見えてきて、「課題はどうすれば改善できるか」、「その方法は現実的に可能であるか」など、中学校までの学習では考えなかった発展的なことまで考えることがおもしろさであり難しさです。
- A 2. 若狭高校は勉強に対する意識が高く、生徒同士で教え合ったり先生に質問したりしやすい空気です。行事にも全力で、クラスだけでなく学校全体が一体となり盛り上がります。「勉強ばかり」と思わず、楽しいことが待っていると思って受験勉強がんばって下さい。



普通科1年 野勢万由（高浜中卒業）



研究課題「へしこの摂取による体内ナトリウムの変化」

- A 1. 課題研究は普通の授業と違い、課題を自分たちで決められるところが面白いです。しかし、「なぜこの研究をするのか」、「この研究をする意味は？」と問われ苦戦しました。理由や意味を深く考ることで他者感覚が身につき、視点が広がります。課題研究を通して身につけた力を将来に生かしたいと思います。
- A 2. 課題研究は興味のあることを研究できるだけでなく、アメリカで研究発表できるチャンスが与えられることもあります。「いろんなことを研究してみたい」と思っている皆さん、是非若狭高校で研究に挑戦しましょう。

海洋科学科2年 仲野琴音（小浜二中卒業）

研究課題「"How to tell the charm of our town deeply" 外国人観光客に向けた小浜のPR」

- A 1. ★それぞれの興味をもとに1からテーマを作り出すところ
★実際にお話を伺えることで新たな発見や課題が見つけ出せるところ
★分かりやすくまとめる意図
★仮説→検証→考察の流れをスムーズにつくれるようになった
★可能性が広がる分、終わり（先）が見えない
- A 2. 同じ興味をもった唯一無二の仲間達との若狭高校でしかできない体験があなたを待っています！一緒に青春を楽しみましょう。



国際探究科2年 田中夏希（大飯中卒業）



研究課題「トリハマ縄文人の謎に迫る～花粉分析による出現時期の特定～」

- A 1. 私たちの研究は三方湖の湖底堆積物から花粉と炭粒を手がかりにし、縄文人が出現した時期と気候を特定するというとても興味深いものです。仲間と協力し、自分の興味のある分野について研究を進めることができる楽しさがあります。また、研究者の方々からの助言をいただきたいり、お話を伺ったりとたくさんの貴重な経験をしています。3月にはアメリカで研究発表します！
- A 2. 課題研究では、普段の授業ではできない体験がたくさん出来る魅力的な活動です。若狭高校で自分が興味を持った分野をじっくり研究しましょう！

理数探究科2年 吉田涼香（上中中卒業）

研究課題「砂浜におけるマイクロプラスチックの現状」

- A 1. 私たちは東京と兵庫でマイクロプラスチックの研究発表をしてきました。特に東京では英語で発表をし、タイの方々の興味深い研究を聞くこともできました。多くの場で研究発表をすることで、マイクロプラスチックを研究する難しさ・楽しさ・必要性などを共有できたことはとても貴重な経験になりました。
- A 2. 若狭高校では、生徒自身が自発的に研究に取り組んでいます。また、大学や専門機関と連携できれば専門的な研究もできます。また、日本だけでなく、アメリカなどの海外で研究発表をするチャンスがあることも魅力の一つです。こんなことを研究してみたい！こんなことを知りたい！と思っているみなさん、若狭高校にぜひ来てください。



理数探究科2年 西川辰昌（小浜中卒業）

お知らせ 若狭高校SSH研究発表会を開催します

日 時：平成30年2月17日（土） 会場：若狭高等学校

内 容：★口頭発表（2年理数探究科・国際探究科） 10：00～12：10 視聴覚室・LL教室

★ポスター発表（1年全学科・2年理数探究科・国際探究科、海洋科学科）

13：20～15：10 大・小体育館

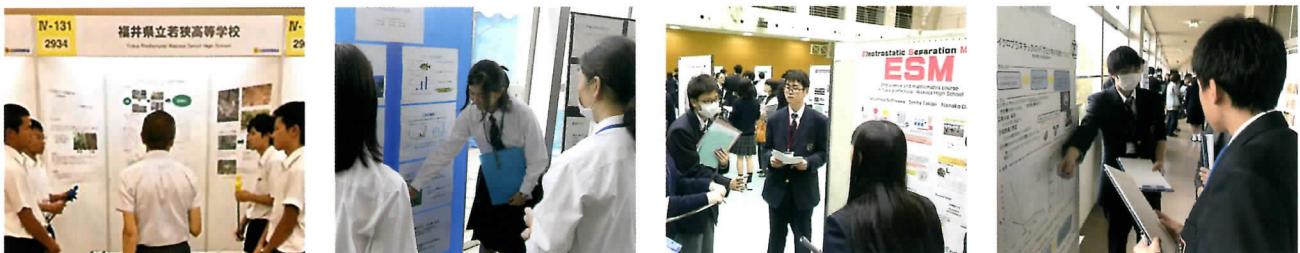


担任の先生を通して参加
申し込みをして下さい!!

2年生の課題研究の成果（中間発表）や1年生が設定した研究課題の報告を行います。中学生の皆さん是非、午後のポスター発表にご参加下さい。若狭高校での学びの様子を感じとり、進路選択の手がかりにしていただければと考えています。皆さんのご参加をお待ちしています。

発表会に参加しました・・・「課題研究の成果を校外の発表会で発信します」

平成29年度SSH生徒研究発表会 (8月9・10日／神戸国際展示場)	「小浜市内におけるシカの食害の数値化とシカ急増の原因の考察」 3年理数探究科上山大智・岡昂輝・佐藤呼人・山崎大樹
福井県立大学研究発表会 (10月8日／福井県立大学小浜C)	2年理数探究科の全てのグループが発表しました
福井県理科クラブ研究発表会 (10月24日／福井県教育総合研究所)	「小浜市の2大河川(北川・南川)周辺での放射線量の比較Ⅲ」 科学部 2年 中村駿斗・西川辰昌 1年 坂向偲乃・小原萌・森中大樹・濱田悠太 「砂浜の生物調査」 科学部 2年 山田敬太 1年 濱田悠太・松原絃爾
東海大学附属高輪台高校研究発表会 (10月28日／高輪台高校)	「静電気を用いたマイクロプラスチックの分別方法」 2年理数探究科 大同名南子・高木芹菜・西川辰昌
京都大学サイエンスフェスティバル代表選考会 (11月3日／藤島高校)	「扇風機だけで教室を涼しくする方法～シミュレーションソフトを用いた検証～」 2年理数探究科 小林瑛大・石橋沙綺乃・宮下直士
瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム (11月19日／尼崎小田高校)	「マイクロプラスチックの生物による誤飲」 「マイクロプラスチックの季節変化」 「静電気を用いたマイクロプラスチックの回収方法の開発」 2年理数探究科 大同名南子・高木芹菜・西川辰昌 2年海洋科学科 佐野友信・増田理紀・横山滋也・福智隆史 有本一也・松井海翔



ふくい理数グランプリ結果報告 「理数分野の力試しの場、年々参加者が増加しています」

科学の甲子園全国大会の予選を兼ねる「ふくい理数グランプリ」が開催されました。9月10日に福井大学で行われた予選に、本校から25チーム73名（2年36名、1年37名）の生徒が参加しました。このうち15チームが予選を突破し、9月18日の本選に進むことができました。科学的な思考力・判断力・表現力が試される課題に対し、チームで協働して取り組み、各部門で優秀な成績を収めました。残念ながら総合成績では藤島高校に次ぐ第2位となり惜しくも全国大会出場を逃す結果となりました。この悔しさを来年度へ・・・。

- 物理部門 優秀賞「加速度戦士矢馬士」……………大宮鉄矢・大西佑馬・宮下直士
生物部門 優秀賞「わかさJK」……………松木優依・平田麻衣・小林優希
優秀賞「156ガールズ」……………吉田涼香・白崎永・松井佑菜
数学部門 優秀賞「Re：中パーと仲間達」………中村駿斗・中島奨太・長田拓海
数学部門 個人最優秀賞……………中村駿斗



大学訪問研修 「参加希望者を募り、大学の研究室を訪問して実験研修を実施します」

◆京都大学研修（8月1日～3日）



「高温超伝導体の作製と評価」大学院理学研究科の金相学研究室を訪問し、大学生が行う実験を大学院生のサポートを受け、体験しました。

◆大阪大学研修（8月7日～8日）



大学院環境工学専攻の共生環境評価領域、環境エネルギー材料工学領域、量子線生体材料工学領域の3つの研究室にお世話になり、実験とその成果発表を経験しました。

◆大阪府立大学研修（8月6日）



第6回「ハイスクール放射線サマーカラス」に科学部員2名が参加し、「小浜市を流れる2大河川(北川・南川)周辺での放射線量の比較Ⅲ」の成果発表を行い、審査員特別賞を受賞しました。